

民間の取組事例の紹介

消費者と事業者をつなぐ食品ロス削減に取り組むための啓発資材について、紹介します。

日本の食品ロス量は平成 27 年度推計で年間 646 万トン。年間 1 人当たりで換算すると約 51kg を捨てていることとなります。

食品ロスの削減に向け、食品を購入する場面での「買い方を変える」取組について、消費者の理解の下、事業者の協力を得て進めていく必要があります。

〈啓発資材の内容〉

今般、フードロスチャレンジプロジェクトは、食品ロス削減の取組として、「つれてって！習慣」を推奨する啓発資材を作成しました。この「つれてって！習慣」は、食品ロスを減らすために店舗での買い方として、すぐに食べるものは賞味期限の近いものから選ぶ（順番につれてって）、無駄なく使いきれるように選ぶ（食べられる量をつれてって）、家にあるものを思い出しながら選ぶ（家にあるものを思い出しながらつれてって）ことを習慣にすることを推奨するものです。

啓発資材は、「啓発資材の趣旨を説明したチラシ」、「消費者向けリーフレット」、「事業者向けリーフレット」の 3 種類です。

〈参考例：消費者向けリーフレット〉



資料提供：フードロスチャレンジプロジェクト
<http://foodlosschallenge.com/>

これらの啓発資材は、消費者庁ウェブサイト「[食品ロス削減] 食べ物のムダをなくそうプロジェクト」の民間の取組事例からご覧いただけます。

http://www.caa.go.jp/policies/policy/consumer_policy/information/food_loss/case/#private